

【25】不格好な船

この 3 月にアメリカ東海岸のボルチモア港で大型のコンテナ船が、河口の橋梁に衝突してきれいなアーチ橋が崩落したが、その様子が動画でわが国の TV にも報道され、土木屋として勉強になりました。

そのとき気になったのは、衝突したコンテナ船が船の甲板の上にコンテナを何段にもぎっしり積載していて、船の特徴ともいえるべきブリッジ（船橋）も煙突もマストも何もないのです。

そういえば何年前かに、スエズ運河でやはり超大型の日本のコンテナ船が座礁して、運河が何日か不通になった事故がありましたが、コンテナ船はもうコンテナの化物みたいで甲板の上にはコンテナ以外に何も見当たらない。操船するのに何処かにブリッジはあるのだろうがコンテナの山にうずもれてちょっと見にはわかりません。

最近はやりのクルーズ船も今や十万トン以上の超大型船が出現していますが、何千人ものお客をのせるというので船体の上に 10 階建てのホテルを載せたもので、船というより建物みたいで、格好が良くありません。

そういえば、自動車を運ぶ専用船は全くの箱のようだし、オイルタンカーは太ったタライです。古典的な船らしい船というと、軍艦、巡視船、海洋調査船、長距離フェリーくらいに限られてしまいました。

かつて船というと夢とロマンがあり、流行歌にマドロスが歌われた時代もあったのですが、船といえども、効率と経済性第一の現代では単なる輸送機器と化し、その外見など気にしてられないのでしょうか。

船長さんになりたいという子供がいなくなるのではと心配になります。